

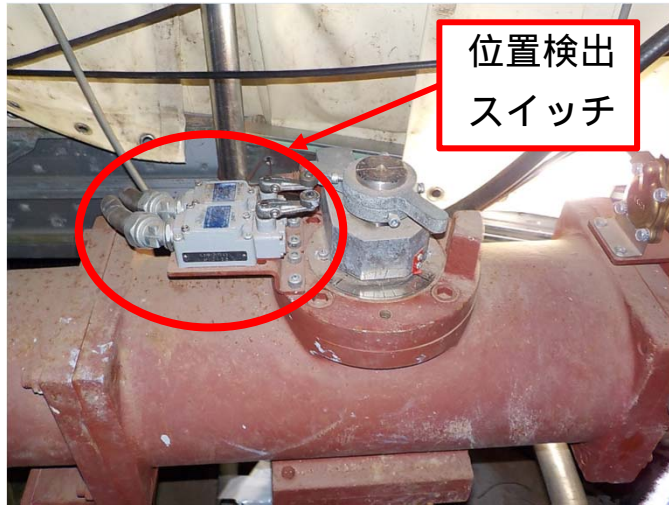
# 福島第一原子力発電所3号機使用済燃料プール 循環冷却設備一次系ポンプ(B)停止について

< 参 考 資 料 >  
2017年11月27日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

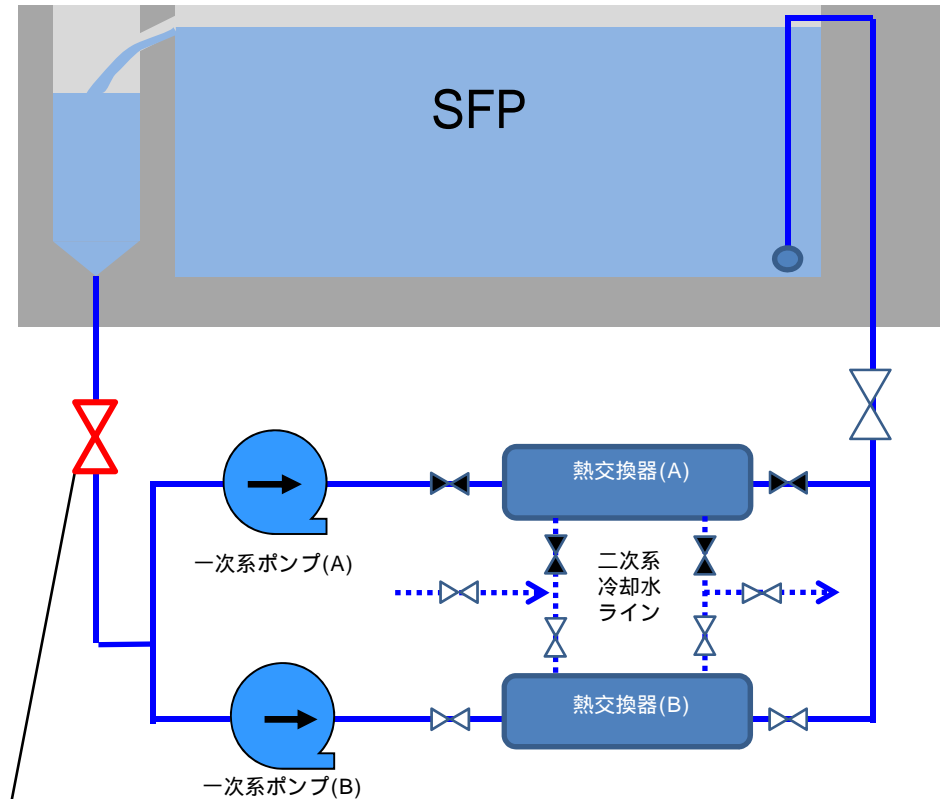
## < 概要 >

- 本日（11月27日）午前9時41分頃、運転中の3号機使用済燃料プール（以下、SFP）において、系統隔離弁(F015)閉信号により循環冷却一次系ポンプ（B）が停止。
- その後、現場の状況を確認し、ポンプと系統入口隔離弁に異常のないことを確認したことから、ポンプ（B）を、午前11時34分に再起動し、冷却を再開。
  - ・ 停止時水温 ： 18.0
  - ・ 再起動後水温： 18.1
  - ・ 停止時3号機SFP水位 ： 通常水位（オーバーフロー付近）
  - ・ 再起動時3号機SFP水位： 通常水位（オーバーフロー付近）
- ポンプ停止の間、プラントパラメータおよび、モニタリングポストの指示値に有意な変動がないことを確認している。
- ポンプ（B）が停止した原因については、「開」状態となっている系統入口隔離弁(F015)の位置検出スイッチに、作業に伴う何らかの接触があり、「閉」信号が発信されたものと推定。

# 現場の状況と系統図



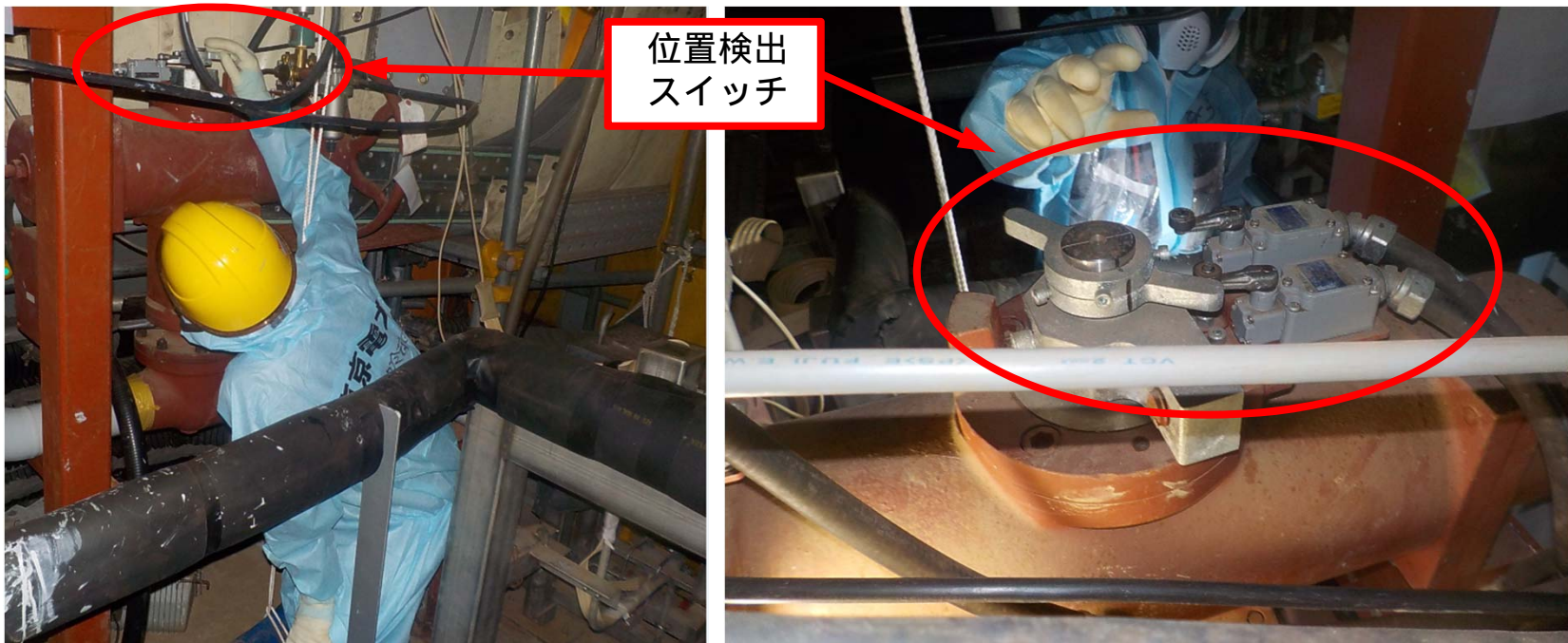
< 系統入口隔離弁(F015)現場写真 >



系統入口隔離弁  
(F015)

## 推定原因

- 近傍で配管塗装作業を実施しており、作業員が弁の位置検出スイッチに誤って接触したと考えている。



< 現場再現写真 >

# 対策

---

- 応急対策として、当該弁および類似弁に注意喚起表示取付け実施済み。
- 恒久対策を検討中。



< 注意喚起表示（本日実施済み） >